

### 高校生ワークキャンプ

次代をになう高校生に、正しい社会福祉を肌で感じ、理解してもらおうと、「高校生ワークキャンプ」が今年も夏休みを利用して実施されました。初日は、ボランティア活動についての講義や話し合いを行い、翌日から県下5ヶ所の施設に分かれ、2泊3日で体験交流。参加者は、社会福祉に関心がある人ばかりではなく、ほとんどもが全くの白紙の状態。なかには、参加数日前まで、キャンプに行くものと勘違いしていたと話す正直な生徒さんもありました。3日間のスケジュールを何とかこなした彼ら、ともあれ、悪戦苦闘の末、確かにひとまわり大きくなったようです。

## 老人の笑顔というのは、

### 子供、それも

若い、やな言葉だなあ、と思う、できれば年なんてとりたくないよなあ、というのが、今のところの僕の正直な気持ち、だけど、ホントにこればかりはどうしようもないことなわけで、あと五十年もたてば、やっぱり僕だつておじいちゃん、なのだ、まあ、もつともちちゃんと生きれば、なのだけだ。

### 赤ん坊のそれに

「君たちもいつかは、私らみたいになつちまうんだ……」だから今のうち遊んどけ、みたいなことを、あるおじいちゃんに言われたのだけど、その言葉が、ひどく印象深く、

### 近いんじゃないかな、

なんと言えはよいか、悲しいよ、うな、怖いよ、うな、とにかく不安な気持ち

### という気がする、

になつてしまつた、しばらくは、

### くもりがない、というか、

さそうだ。人の一生は、月の満ち欠けに例えることができずとも、月はさまざまに姿を変えて、僕らは

### なんか見ていると、こちらも

その変化だけに気をとられがちだけれども、満ちていようが欠けていようが、月はあくまで球なのだ。

### ホットする、というか、

人間だつてそれと同じように、年とつていくうち、肉体的、精神的に変化していくけどもそこに存在している人は基本的に変わることはないんじゃないか。

### うれしいなあ、なんて……。

みたいなあ、そんな気がする、というだけの話なのだけだ。

特別養護老人ホーム「つつじ山荘」(大津町)でのワークキャンプ参加者の作文より



特別養護老人ホーム「チブサン荘」(山鹿市)にて

### 風のスクランブル

### 史跡ガイドボランティアクラブ

吹き渡る風もさわやかに秋本番。行楽には最適な季節がやってきました。行楽地といえ、まず思いつくのは名所旧跡。そして忘れてはならないのが観光ガイド。ガイドさんの良し悪しで、その場所に対するイメージが大きく変わるといっても過言ではありません。

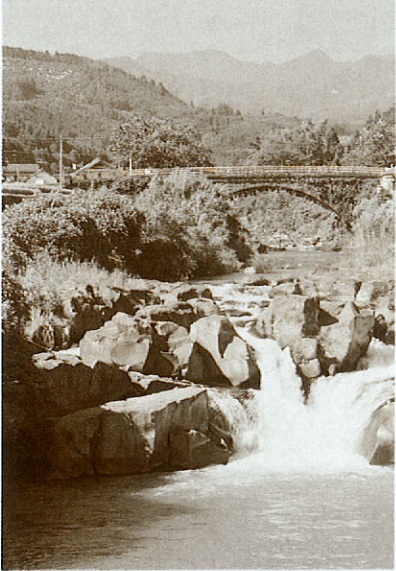
菊池市では、ボランティアグループによる史跡案内が行われ、訪れた方々を喜ばせています。このグループ、正式には『史跡ガイドボランティアクラブ』といい、ふるさとの歴史を勉強する「ふるさと学級」のメンバーが中心となり、男性七名女性三名の計十名の会員で、今年三月に結成されました。研修を積み、六月から本格的に活動を開始。これまでに二十回以上のガイドを務め、方言混りの愛情溢れるガイドぶりに評判も上々。取材の最中にも、熊本市内から五十名の団体の申し込

## 郷土を学べば学ぶほど愛着がわきます。

みが入り、その盛況ぶりにビックリ。代表の今坂寿宏さんは、クラブ結成の動機

を、「歴史と自然に恵まれた郷土菊池のことを学べば学ぶほど、愛着がわきましたね。その良さを市民や観光客の方々に知って欲しいと始めました。郷土の町おこしにつながっていくといいですね。」と語ります。月二回の例会では、各人が案内の度に作成するカードを基に、より解り易いガイドを目指し勉強です。今後は、雨の場合を考え、スライドやビデオによる説明もできるようにと、カメラ片手に大忙し。でも皆さんのいきいきと楽しそうなこと。

菊池市でも、この活動を、市職員や旅館組合、タクシードライバーなどの研修に取り入れ、市を上げての運動に盛り上げたいと全面的にバックアップ。クラブ員の皆さん、ますます忙しくなりそうです。ガンバッテ!!



※申し込み、お問い合わせ先  
菊池市教育委員会社会教育課  
☎096882(5)1111

